

Connectrix MDS シリーズ・スイッチ アーキテクチャと管理 – Self Study

コース概要



e-Learning

この基礎レベルの自習教材では、Cisco スイッチのハードウェア/ソフトウェア構成の概要について説明します。EMC を通じて入手可能な製品の範囲を紹介するとともに、Cisco スイッチを管理するその他の方法についても取り上げていきます。さらに、スイッチによって利用可能となる機能の観点から見た、SAN のセキュリティの問題も取り上げていきます。

コース番号:	MR-9WP-NSMDS-JPN		
コースタイプ:	自習教材	コース期間:	2 時間

受講対象者

このコースは、現在次の業務に携わっている方、または今後携わる予定の方を対象としています。

- MDS シリーズ・スイッチを使用した SAN の計画または構築
- MDS シリーズ・スイッチ・テクノロジーを使用した SAN の導入
- MDS シリーズ・スイッチの管理
- MDS シリーズ・スイッチの構成

受講前提条件

このトレーニングには前提条件はありませんが、ファイバ・チャネルおよびゾーニングの概念を理解しておくことをお勧めします。

目的

このコースを受講すると、下記のことを学ぶことができます。

- さまざまな MDS シリーズ・スイッチ・モデルの列挙
- MDS シリーズ・スイッチのデザインについての説明
- 取り上げたモデルのスイッチ・アーキテクチャの比較
- MDS シリーズ・スイッチの管理と構成に利用できるツールの特定
- 利用できるセキュリティ機能およびその導入方法の説明

モジュールの内容

各モジュールは、コースの目的に対応するように設計されています。このコースには、次のモジュールが用意されています。

- 一般的なスイッチ・アーキテクチャ
- モデルの階層と機能
- ネイティブ・スイッチ・ツール
- オプション・スイッチ・ツール
- スイッチのセキュリティ

実習

このモジュールには実習はありません。

実力テスト

このモジュールには実力テストはありません。